

【外注検査】

頸管粘液エラストーゼ

容器変更に伴う抽出方法変更のお知らせ



2025年2月

株式会社グッドライフデザイン

下記項目におきまして、容器変更に伴う抽出方法の変更をご案内いたします。
何卒ご了承承賜りますようお願い申し上げます。

【変更日】 2025年3月1日

【項目】頸管粘液エラストーゼ*SRL






・容器が以下の写真のように変更になります。

変更点	新	現
容器形態 容器記号：VP6 (旧容器記号 W6)	 スワブ容器にラベルあり	 スワブ容器にラベルなし



※赤枠内：変更点

※SRL NEWS No.2025-002 より引用

・抽出方法について、以下の画像の③が変更になります。

抽出方法	
① 	抽出液の入った抽出容器の青色キャップをはずします。
② 	頸管粘液を採取した綿棒を浸けて、2～3分間放置します。その後、綿棒を20～30回細かく上下させて検体を抽出します。
③ 	綿棒にしみ込んだ検体抽出液を抽出容器ごと指で押しつぶす等して絞り出した後、綿棒を取り除きます。
④ 	フィルターをセットします。
⑤ 	検体抽出液を検体保存容器へ濾過します。この時の加圧は1回のみとし、5～7滴(約300μL)を分取します。必要量が得られない場合は検体採取からやり直してください。検体保存容器に白色キャップをして保存します。冷蔵(8℃)で3日以内、凍結(-15℃以下)で3ヵ月以内に測定してください。

※SRL 総合検査案内 2024-2025 より引用

新	現
 <p>検体抽出液がしみ込んだ綿棒を、抽出容器壁面に軽く押しつけて、抽出液が滴らない程度にした後、取り除きます。</p>	 <p>綿棒にしみ込んだ検体抽出液を抽出容器ごと指で押しつぶす等して絞り出した後、綿棒を取り除きます。</p>

※SRL NEWS No.2025-002 より引用

以上

【問合せ先】

株式会社グッドライフデザイン

ラボラトリー事業部

TEL:(0565)25-3165 FAX:(0565)25-3166

検査担当部門：生化学部門（内線：6063）